

平成24年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	赤十字国際委員会(ICRC)拠出金 (任意拠出金)	担当部局庁	国際協力局	作成責任者			
事業開始・ 終了(予定)年度	昭和35年度開始	担当課室	緊急・人道支援課	課長 青木 豊			
会計区分	一般会計	施策名	Ⅶ-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	外務省設置法第4条第3項	関係する計画、 通知等	(1)赤十字国際委員会規程第15条第1項 (2)ジュネーブ外交会議決議11(1949年) (3)第25回赤十字国際会議決議24(1986年)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	赤十字国際委員会(ICRC)は、ジュネーブ諸条約にその役割が明記され、人道支援分野等において、他の国際機関にはない独自の活動を行っており、国際的にも高い評価を得ている。また、ノーベル賞を3度以上受賞した世界唯一の機関である。ICRCを支援することは、紛争地域の平和と安定に資するのみならず、我が国が人道危機の解決に対して積極的であるとの姿勢を国内外に示すもの。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	ICRCは、紛争犠牲者の保護を中心として、医療支援、食糧・生活物資等の支給、飲料水供給、衛生活動等の「緊急人道支援」を実施しており、我が国や他の国際機関が安全・能力上の制約から支援不可能な状況・場所で、時に「唯一の援助機関」として活動している。また、捕虜や被拘禁者の人道状況の監視、離散家族の安否調査等の「保護」活動や、国際人道法の普及も行っている。ICRCのこのような活動を通じて、紛争で苦しむ人々を支援する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☒ その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算の 状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	466	293	240	229	197
		補正予算	3,331	4,230	3,738	-	
		繰越し等	-	-	-	-	
	計	3,797	4,523	3,978	229		
	執行額	3,797	4,523	3,978			
執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	紛争犠牲者の保護の実現 (救われた人命数)		成果実績 百万人	32.1	28.5	37.1	
	(注)機関全体の目標及び実績		達成度 %	100%	100%	100%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	①保健・医療分野の支援を受けた人数 ②水・衛生分野の支援を受けた人数 ③被拘束者訪問人数		活動実績 (当初見込み) 人	①5.8百万 ②14.25百万 ③479,669	①5.2百万 ②10百万 ③500,928	①7.1百万 ②21.9百万 ③540,828	-
	(注)機関全体の指標及び実績					() ()	
単位当たり コスト	33.8スイスフラン/人		算出根拠	33億スイスフラン(2009年から2011年末までにICRCが支出した累積額)÷97.7百万人(同期間にICRCの支援により救われた累計人命数) =33.8スイスフラン			
平成24・25年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	赤十字国際委員会 (ICRC)拠出金	229	197				
	計	229	197				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	ICRCは、安全・能力上の制約から他の国際機関が活動できない地域においても人道支援活動を実施しており、国としてその活動を支援する必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大い場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	ICRCは、国別・物資別の適正な調達価格を設定し、コスト削減に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	ICRCは、成果に基づくマネジメントを実施しており、常に成果目標を立てて、着実な事業の実施に努めている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	主要ドナー国が参加するドナー・サポート・グループ会合等を通じて、引き続き効率的な事業の実施を求めていく。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	拠出額減額		
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）		
縮減	任意拠出金のうち優先事項を踏まえて減		
	補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）		
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	92	平成23年行政事業レビュー	86